

UK03-PDF-001 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「道路交通法の目的として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「道路における危険を防止し、交通の安全と円滑を図り、道路交通に起因する障害の防止に資すること。」とした。

B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「進路変更をしようとする場合、方向指示器による合図を開始する時期として適切なものはどれか。」に対し、回答「進路変更と同時。」とした。

ア. 目的・用語の定義の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

イ. 目的・用語の定義の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

ウ. 目的・用語の定義の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

エ. 目的・用語の定義の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路交通法第1条の目的に沿う。危険防止、安全・円滑、交通起因障害の防止が柱である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。同時では周囲への予告にならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-002 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「物流センターの構内通路であっても、不特定多数の車が自由に通行する状態にある場所について、道路交通法上の「道路」に該当し得る理由として適切なものはどれか。」に対し、回答「私有地は利用状況にかかわらず絶対に道路に含まれない。」とした。

B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「前車が進路変更の合図をしている場合の後続車の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物車なら妨げてもよい。」とした。

ア. 目的・用語の定義の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

イ. 目的・用語の定義の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

ウ. 目的・用語の定義の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

エ. 目的・用語の定義の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。私有地でも一般交通に供される態様なら該当し得る。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種による免除はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-003 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「車両」に含まれるものの組合せとして適切なものはどれか。」に対し、回答「自動車と航空機だけ」とした。

B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「追越し後に元の車両通行帯へ戻るときの運転として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「追い越した車との十分な間隔を確認し、合図と安全確認をして戻る。」とした。

A. 目的・用語の定義の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

I. 目的・用語の定義の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

U. 目的・用語の定義の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。航空機は含まれない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。追越し後も安全な車間距離を確保し、進路変更の手順を守る必要がある。

。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-004 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「駐車」に該当するものとして最も適切なものはどれか。」に対し、回答「赤信号に従って停止する。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「交差点で左折するときの基本的な方法として正しいものはどれか。」に対し、回答「交差点直前で急に左へ進路変更する。」とした。

A. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

I. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

U. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

E. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。信号による停止は駐車ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。急な進路変更は巻き込み事故を招く。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-005 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「貨物の積卸しのための停止と「駐車」の関係について正しいものはどれか。」に対し、回答「5分を超えない貨物の積卸しのための停止は、一定の場合に駐車から除かれる。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「一般の道路で交差点を右折するときの基本的な方法として正しいものはどれか。」に対し、回答「対向直進車より常に右折車が優先する。」とした。

A. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

I. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

U. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。駐車 の定義では、貨物の積卸しのための5分を超えない停止が除外される。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。右折車は対向直進・左折車の進行を妨げてはならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-006 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「停車」の説明として正しいものはどれか。」に対し、回答「車両が24時間以上停止することだけをいう。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「一方通行道路から右折する場合の通行方法として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路中央に寄る方法しか認められない。」とした。

A. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

I. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

U. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。時間だけで定義されない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。一方通行では右端寄りが原則となる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-007 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「追越し」の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「駐車車両の横を徐行して通ることだけをいう。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「右折しようとする自動車と、対向する直進車が交差点に接近している場合の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「右折車は、対向直進車の進行を妨げてはならない。」とした。

ア. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

イ. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

ウ. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

エ. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。駐車車両通過だけを定義したものではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。右折車は、対向する直進車・左折車の進行を妨げてはならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-008 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「交差点」の理解として適切なものはどれか。」に対し、回答「道路と駐車場の出入口が接する場所をすべていう。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「交通整理の行われていない交差点で、交差する道路が明らかに優先道路である場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「警告音を鳴らせば優先関係が逆転する。」とした。

ア. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

イ. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

ウ. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

エ. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。単なる施設出入口は当然に交差点とはならない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。警告器で優先関係は変わらない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-009 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「「歩行者」の扱いに関する説明として正しいものはどれか。」に対し、回答「二輪車等を押して歩いている者が、一定の場合に歩行者として扱われることがある。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「交通整理のない、幅員がほぼ同じ道路の交差点で、同時に他車が接近する場合の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「先に警音器を鳴らした車が優先する。」とした。

A. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

I. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

U. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路交通法では一定の車両を押して歩く者を歩行者として扱う規定がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。警音器の先後で優先しない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-010 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義】設問「運行管理者が道路交通法の用語を確認する際の考え方として適切なものはどれか。」に対し、回答「他法令の定義をそのまま道路交通法にも必ず適用する。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「「一時停止」の標識がある交差点での運転として正しいものはどれか。」に対し、回答「停止線を越えて交差点中央で停止する。」とした。

A. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

I. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

U. 目的・用語の定義の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。他法令の定義が当然に共通するとは限らない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。停止位置を越えてからの停止では不適切である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-011 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「交差点で自動車が青色の灯火に対面した。青信号の法的な意味を踏まえた運転として適切なものはどれか。」に対し、回答「必ず停止しなければならない。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「信号が青でも、交差点内の渋滞により進入すると交差点内で停止するおそれがある場合の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「交差点に進入せず、前方に通過できる空間ができるまで待つ。」とした。

A. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

I. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

U. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

E. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。赤信号の扱いである。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。交差点内で停止し他の交通を妨害するおそれがあるときは進入を控える。

。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-012 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「停止線直前で信号が青から黄に変わった。安全に停止できる距離が十分ある場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物自動車だけは常に進行できる。」とした。

B.【交差点の通行方法】設問「環状交差点へ進入しようとするときの基本として正しいものはどれか。」に対し、回答「右側から環状部へ入る。」とした。

A. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。

I. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。

U. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。

E. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種によるそのような一般例外はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。指定された右回り通行等に従う。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-013 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「赤色の灯火の信号に対面した車両の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「停止位置を越えて進行してはならない。」とした。
- B.【交差点の通行方法】設問「交差点で進行方向別通行区分が道路標識・標示で指定されている場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「空いている車線を優先して選べる。」とした。
- ア. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は誤り。
- イ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は正しい。
- ウ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 交差点の通行方法の回答は正しい。
- エ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 交差点の通行方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。赤信号では停止位置を越えて進行してはならないのが原則である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。混雑状況だけで指定を無視できない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-014 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「赤信号と同時に青色の右向き矢印が表示されている場合、自動車の通行として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物自動車だけは矢印に従えない。」とした。
- B.【横断・転回・後退】設問「道路を横断し、転回し、又は後退しようとする場合の基本的な規制として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物は業務上必要なら制限を受けない。」とした。
- ア. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 横断・転回・後退の回答は正しい。
- イ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 横断・転回・後退の回答は誤り。
- ウ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 横断・転回・後退の回答は正しい。
- エ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 横断・転回・後退の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。大型貨物に一律の除外はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。業務上の必要だけで禁止が解除されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-015 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「夜間、交差点の信号機が黄色点滅になっている。自動車の運転方法として適切なものはどれか。」に対し、回答「その場で信号が変わるまで待つ。」とした。

B.【横断・転回・後退】設問「「転回禁止」の標識又は標示がある場所での運転として正しいものはどれか。」に対し、回答「車両は転回してはならない。」とした。

A. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／横断・転回・後退の回答は誤り。

I. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／横断・転回・後退の回答は誤り。

U. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／横断・転回・後退の回答は正しい。

E. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／横断・転回・後退の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。信号変化を待つ義務ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。転回禁止の標識・標示がある場所では転回は禁止される。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-016 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「赤色点滅の信号が設置された交差点へ自動車で進入しようとしている。必要な行動はどれか。」に対し、回答「徐行だけで停止せず進行する。」とした。

B.【横断・転回・後退】設問「後退を開始する際の運転として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「ミラーを見ずにゆっくり後退する。」とした。

A. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／横断・転回・後退の回答は正しい。

I. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／横断・転回・後退の回答は正しい。

U. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／横断・転回・後退の回答は誤り。

E. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／横断・転回・後退の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。徐行だけでは足りない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。低速でも死角確認は必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-017 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「警察官の手信号と信号機の表示が異なる場合、どちらに従うべきか。」に対し、回答「警察官等の手信号に従う。」とした。
- B.【横断・転回・後退】設問「高速自動車国道の本線車道で出口を通り過ぎたことに気付いた場合の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「追越し車線上で停止し、後退する。」とした。
- ア. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 横断・転回・後退の回答は誤り。
- イ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 横断・転回・後退の回答は正しい。
- ウ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 横断・転回・後退の回答は正しい。
- エ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 横断・転回・後退の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。交通整理を行う警察官等の手信号は、信号機と異なる場合でも優先する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。本線停止・後退は重大事故につながる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-018 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「本標識の4種類の組合せとして正しいものはどれか。」に対し、回答「禁止標識、許可標識、広告標識、案内標識」とした。
- B.【横断・転回・後退】設問「道路外の施設へ入るため右左折を伴って道路を横断する場合の判断として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「右左折の合図は不要である。」とした。
- ア. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 横断・転回・後退の回答は正しい。
- イ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 横断・転回・後退の回答は誤り。
- ウ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り / 横断・転回・後退の回答は正しい。
- エ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい / 横断・転回・後退の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定の4分類ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。右左折等の合図が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-019 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「「最高速度」の道路標識は、標識分類上どれに当たるか。」に対し、回答「指示標識」とした。
- B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「最高速度が道路標識等で指定されている道路での運転として正しいものはどれか。」に対し、回答「指定された最高速度を超えて運転してはならない。」とした。
- ア. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- イ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- ウ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- エ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。特定の場所等を指示する指示標識とは区別される。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。指定最高速度がある場合はその規制に従う。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-020 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「補助標識の役割として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路の舗装強度を表示するためだけに用いる。」とした。
- B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「道路標識等による最高速度の指定がない一般道路で、通常の自動車の最高速度として正しいものはどれか。」に対し、回答「100km/hとし、普通自動車の高速道路速度を一般道路にも当てはめる。」とした。
- ア. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- イ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- ウ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- エ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。舗装強度だけの表示ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。高速自動車国道の一部車種に係る数値である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-021 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「道路標示の分類として正しいものはどれか。」に対し、回答「規制標示と指示標示」とした。

B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「大型貨物自動車（単車・三輪を除く）が、速度指定のない高速自動車国道の本線車道を走行する。2024年4月改正後の法定最高速度に合うものはどれか。」に対し、回答「100km/hとし、普通自動車等と同じ区分とする。」とした。

ア. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

イ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

ウ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

エ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路標示は規制標示と指示標示の2種類に分類される。Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。大型貨物の現行法定最高速度ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-022 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「進路変更禁止を示す道路標示がある区間での運転として適切なものはどれか。」に対し、回答「後続車がいなければ標示は無視できる。」とした。

B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「特定中型貨物自動車（三輪を除く）について、高速自動車国道本線車道の無指定区間に適用される現行の法定最高速度はどれか。」に対し、回答「80km/hとし、改正前の基準を用いる。」とした。

ア. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

イ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

ウ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

エ. 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。交通量の有無で規制が消えるわけではない。Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。旧来の80km/hではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-023 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【通行区分・車両通行帯】設問「車両通行帯のない道路で、自動車が通行する位置の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路中央から右の部分を常時通行する。」とした。
- B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「高速自動車国道の本線車道で、トレーラ等の「他の車をけん引している自動車」の法定最高速度として正しいものはどれか。」に対し、回答「80km/hとする。」とした。
- ア. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- イ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- ウ. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- エ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。右側常時通行は原則に反する。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。大型貨物等の90km/h引上げ後も、他車をけん引する自動車は80km/hの区分に残る。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-024 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【通行区分・車両通行帯】設問「片側に2本の車両通行帯がある道路での一般的な通行方法として適切なものはどれか。」に対し、回答「貨物車は常に中央線寄りを走る。」とした。
- B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「高速自動車国道の本線車道で、標識等による指定がない場合の最低速度として原則正しいものはどれか。」に対し、回答「60km/hを原則とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。
- ア. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- イ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- ウ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- エ. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。貨物車だから中央寄りが原則になるわけではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定最低速度より高い。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-025 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【通行区分・車両通行帯】設問「片側3以上の車両通行帯がある道路で、最高速度の異なる車が通行する場合の考え方として適切なものはどれか。」に対し、回答「最も右側の通行帯は原則として追越し等のために空け、速度に応じてそれ以外の通行帯を通行する。」とした。

B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「高速自動車国道の本線車道で最低速度50km/hが適用される場面に ついて適切な説明はどれか。」に対し、回答「悪天候でも速度を下げてはならない。」とした。

A. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

I. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

U. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

E. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。多車線道路では最右通行帯を追越し等に用い、それ以外を速度等に応じて通行する考え方が基本である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。天候に応じた安全速度が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-026 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【通行区分・車両通行帯】設問「道路標識等により「車両通行区分」が指定されている場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型車はすべての通行区分指定から除外される。」とした。

B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「高速自動車国道でも、本線車道が道路構造上往復方向別に分離されていない区間の速度について適切なものはどれか。」に対し、回答「最低速度50km/hだけが必ず適用される。」とした。

A. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

I. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

U. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

E. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。大型車の一律除外はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。最低速度の適用も同様に単純ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-027 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【通行区分・車両通行帯】設問「路線バス等優先通行帯を通行中、後方から路線バス等が接近した場合の一般的な対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「路線バス等に停止を求める。」とした。
- B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「大型貨物自動車が高速自動車国道を走行中、「最高速度80」の標識がある区間に入った場合の最高速度として正しいものはどれか。」に対し、回答「80km/h」とした。
- ア. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- イ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- ウ. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- エ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。優先車両に停止を求める規定ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。標識等で80km/hが指定されていれば、法定最高速度90km/hより低い指定に従う。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-028 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【通行区分・車両通行帯】設問「車両通行帯を変更する際の基本として正しいものはどれか。」に対し、回答「ミラー確認をせず合図だけで変更する。」とした。
- B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「普通貨物自動車一般道路の「最高速度50」の標識区間を走る場合の最高速度として正しいものはどれか。」に対し、回答「高速道路の大型貨物速度90km/hを用いる。」とした。
- ア. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- イ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。
- ウ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。
- エ. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。合図だけでは安全確認を代替できない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。高速道路の貨物速度と混同している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-029 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【通行区分・車両通行帯】設問「高速道路の路肩・路側帯の通行について正しいものはどれか。」に対し、回答「通常の走行のために路肩や路側帯を通行してはならない。」とした。

B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「雨天で高速道路を走行する際、標識の最高速度内であっても路面状況から危険がある場合の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「大型貨物はタイヤが多いので雨天減速不要である。」とした。

A. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

イ. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

ウ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

エ. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。高速道路では路肩・路側帯は通常走行のための通行部分ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。大型車でも雨天のリスクはある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-030 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【通行区分・車両通行帯】設問「高速道路で登坂車線が設けられている場合、荷物を積んだトラックなど速度の遅い車の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「必ず追越し車線を走行する。」とした。

B.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「最高速度と最低速度に関する記述として正しいものはどれか。」に対し、回答「最低速度はどの一般道路にも一律50km/hである。」とした。

A. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

イ. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

ウ. 通行区分・車両通行帯の回答は誤り／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい。

エ. 通行区分・車両通行帯の回答は正しい／一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。最右の追越し車線を常用するものではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。一般道路に一律の50km/h最低速度はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-031 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「前車を追い越す場合の原則的な通行側として正しいものはどれか。」に対し、回答「歩道を通行する。」とした。
- B.【徐行すべき場所】設問「道路交通法上の「徐行」の意味として正しいものはどれか。」に対し、回答「車両等が直ちに停止することができるような速度で進行すること。」とした。
- ア. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は誤り。
- イ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は誤り。
- ウ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は正しい。
- エ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。自動車は歩道を追越しに使えない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。徐行は固定のkm/hではなく、直ちに停止できる速度である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-032 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「追越しを開始する前の判断として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「前車との車間距離だけ確認すればよい。」とした。
- B.【徐行すべき場所】設問「「徐行」の標識がある場所での運転として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物は徐行標識の対象外である。」とした。
- ア. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は正しい。
- イ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は正しい。
- ウ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は誤り。
- エ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。複数方向の危険を確認する必要がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。貨物車も対象である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-033 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「道路の曲がり角付近での追越しについて正しいものはどれか。」に対し、回答「原則として追越しをしてはならない。」とした。

B.【徐行すべき場所】設問「左右の見通しがきかない交差点での徐行義務について正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物だけ徐行不要である。」とした。

A. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は誤り。

I. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は正しい。

U. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は正しい。

E. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路の曲がり角付近は追越し禁止場所である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種で免除されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-034 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「踏切とその手前付近での追越し規制として正しいものはどれか。」に対し、回答「踏切通過後だけ30メートル禁止である。」とした。

B.【徐行すべき場所】設問「道路の曲がり角付近を通行するときの原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「夜間だけ徐行する。」とした。

A. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は正しい。

I. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は誤り。

U. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は正しい。

E. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。「手前」が重要である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。昼夜を問わない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-035 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「横断歩道の手前で前車を追い越す場合の規制として正しいものはどれか。」に対し、回答「歩行者が見えなければ自由に追越しできる。」とした。

B.【徐行すべき場所】設問「上り坂の頂上付近を通行するときの原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「徐行しなければならない。」とした。

A. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は誤り。

I. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は誤り。

U. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は正しい。

E. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。歩行者が見えないことは解除理由にならない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。上り坂の頂上付近は見通しが制限されるため法定徐行場所である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-036 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「交通整理の行われていない交差点付近での追越しについて、正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物は交差点内でも追越し自由である。」とした。

B.【徐行すべき場所】設問「こう配の急な下り坂を通行するときの原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物は重量があるので徐行対象外である。」とした。

A. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は正しい。

I. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は正しい。

U. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 徐行すべき場所の回答は誤り。

E. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 徐行すべき場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。貨物車の自由追越しはない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。重量車こそ制動距離等に注意が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-037 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「同一方向に進行中、進路を変えずに他車の側方を通過して前方に出る行為の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「一般に追抜きと呼ばれ、進路変更を伴う「追越し」と区別される。」とした。

B.【停車・駐車の禁止場所】設問「「駐停車禁止」の標識又は標示がある場所での原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「運転者が乗車していれば駐車できる。」とした。

ア. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

イ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

ウ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

エ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。進路変更を伴わず前に出る行為は、一般に追抜きとして追越しと区別される。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転者の在車だけで規制は解除されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-038 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「進路変更をしようとする場合、方向指示器による合図を開始する時期として適切なものはどれか。」に対し、回答「進路変更と同時。」とした。

B.【停車・駐車の禁止場所】設問「交差点とその端から何メートル以内が、原則として駐停車禁止場所となるか。」に対し、回答「交差点の端から3m以内を禁止範囲とする。」とした。

ア. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

イ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

ウ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

エ. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。同時では周囲への予告にならない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。3mではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-039 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「前車が進路変更の合図をしている場合の後続車の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物車なら妨げてよい。」とした。

B.【停車・駐車の禁止場所】設問「道路の曲がり角から何メートル以内が、原則として駐停車禁止場所となるか。」に対し、回答「曲がり角から5m以内を禁止範囲とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

A. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

I. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

U. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

E. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種による免除はない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路の曲がり角から5m以内は駐停車禁止である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-040 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【追越し・追抜き・進路変更】設問「追越し後に元の車両通行帯へ戻るときの運転として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「追い越した車の直前へ急に割り込む。」とした。

B.【停車・駐車の禁止場所】設問「横断歩道又は自転車横断帯とその端から前後何メートル以内が原則駐停車禁止か。」に対し、回答「横断歩道等の前後10m以内を禁止範囲とする。」とした。

A. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

I. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

U. 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

E. 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。急な割込みは危険である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。10mではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-041 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【交差点の通行方法】設問「交差点で左折するときの基本的な方法として正しいものはどれか。」に対し、回答「あらかじめできるだけ道路の左端に寄り、交差点の側端に沿って徐行する。」とした。
- B.【停車・駐車の禁止場所】設問「踏切とその端から前後何メートル以内が原則駐停車禁止か。」に対し、回答「踏切の前後20m以内を禁止範囲とする。」とした。
- ア. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。
- イ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- ウ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- エ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。左折は左端寄り、交差点側端沿い、徐行が原則である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。20mではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-042 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【交差点の通行方法】設問「一般の道路で交差点を右折するときの基本的な方法として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路の左端から交差点中心の外側を回る。」とした。
- B.【停車・駐車の禁止場所】設問「安全地帯がある道路で、その左側と前後の駐停車禁止範囲として正しいものはどれか。」に対し、回答「安全地帯の左側と前後3メートル以内」とした。
- ア. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- イ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。
- ウ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- エ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。原則的な右折方法と異なる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。距離が誤り。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-043 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【交差点の通行方法】設問「一方通行道路から右折する場合の通行方法として正しいものはどれか。」に対し、回答「合図なしで右折する。」とした。

B.【停車・駐車の禁止場所】設問「バス・路面電車の停留所の標示板から、運行時間中に原則駐停車禁止となる範囲として正しいものはどれか。」に対し、回答「運行時間中、停留所標示板から10m以内とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

A. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

I. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

U. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

E. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。右折の合図は必要である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。停留所標示板から10m以内は、運行時間中に駐停車禁止である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-044 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【交差点の通行方法】設問「右折しようとする自動車と、対向する直進車が交差点に接近している場合の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物車なら右折が優先する。」とした。

B.【停車・駐車の禁止場所】設問「トンネル内での駐停車について原則正しいものはどれか。」に対し、回答「貨物車は荷崩れ確認のため自由に停車できる。」とした。

A. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

I. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

U. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

E. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車体の大きさで優先しない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。荷崩れ確認は安全な場所で行うべきである。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-045 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【交差点の通行方法】設問「交通整理の行われていない交差点で、交差する道路が明らかに優先道路である場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「徐行し、優先道路を通行する車両等の進行を妨げない。」とした。
- B.【停車・駐車の禁止場所】設問「坂の頂上付近やこう配の急な坂での駐停車について正しいものはどれか。」に対し、回答「夜間だけ禁止される。」とした。
- ア. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。
- イ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- ウ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- エ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。非優先側は徐行し、優先道路の交通を妨げてはならない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。昼夜で一般規制が変わらない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-046 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【交差点の通行方法】設問「交通整理のない、幅員がほぼ同じ道路の交差点で、同時に他車が接近する場合の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物が常に優先する。」とした。
- B.【停車・駐車の禁止場所】設問「軌道敷内の駐停車について正しいものはどれか。」に対し、回答「貨物の積卸しなら長時間駐車できる。」とした。
- ア. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- イ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。
- ウ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- エ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種による優先ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。積卸し目的でも場所の禁止規制が優先する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-047 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【交差点の通行方法】設問「「一時停止」の標識がある交差点での運転として正しいものはどれか。」に対し、回答「徐行だけで通過する。」とした。
- B.【停車・駐車の禁止場所】設問「駐停車禁止場所でも、赤信号に従うため停止する場合の扱いとして適切なものはどれか。」に対し、回答「信号に従う停止は、駐停車禁止違反として扱う停止とは別である。」とした。
- ア. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。
- イ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。
- ウ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- エ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。徐行では足りない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。赤信号や危険防止のための一時停止等は、駐停車禁止規制が想定する任意の駐停車とは異なる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-048 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【交差点の通行方法】設問「信号が青でも、交差点内の渋滞により進入すると交差点内で停止するおそれがある場合の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「警音器を鳴らし続けながら進入する。」とした。
- B.【停車・駐車の禁止場所】設問「配送中の貨物車が横断歩道の手前3メートルで、5分以内の積卸しを行おうとしている。適切な判断はどれか。」に対し、回答「荷主が許可すれば道路交通法の規制は適用されない。」とした。
- ア. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- イ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい。
- ウ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。
- エ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。警音器は解決手段ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。私人の許可で交通規制は解除されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-049 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【交差点の通行方法】設問「環状交差点へ進入しようとするときの基本として正しいものはどれか。」に対し、回答「徐行し、環状交差点内を通行している車両等の進行を妨げない。」とした。

B.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「自動車用の駐車場・車庫などの出入口から何メートル以内が、原則として駐車禁止となるか。」に対し、回答「自動車用出入口から10m以内を駐車禁止とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

ア. 交差点の通行方法の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

イ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

ウ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

エ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。環状交差点では環状内の車両が優先で、進入時は徐行する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。10mではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-050 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【交差点の通行方法】設問「交差点で進行方向別通行区分が道路標識・標示で指定されている場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「空いている車線を優先して選べる。」とした。

B.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「火災報知機から何メートル以内が原則として駐車禁止となるか。」に対し、回答「火災報知機から5m以内を駐車禁止とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。

ア. 交差点の通行方法の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

イ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

ウ. 交差点の通行方法の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

エ. 交差点の通行方法の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。混雑状況だけで指定を無視できない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。消防水利等の5mと混同しない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-051 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【横断・転回・後退】設問「道路を横断し、転回し、又は後退しようとする場合の基本的な規制として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物は業務上必要なら制限を受けない。」とした。
- B.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「道路工事区域の端から何メートル以内が原則として駐車禁止となるか。」に対し、回答「道路工事区域の端から5m以内を駐車禁止とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。
- A. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。
- I. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。
- U. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。
- E. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。業務上の必要だけで禁止が解除されない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路工事区域の端から5m以内は駐車禁止である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-052 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【横断・転回・後退】設問「「転回禁止」の標識又は標示がある場所での運転として正しいものはどれか。」に対し、回答「後続車がいなければ転回できる。」とした。
- B.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「消火栓や指定消防水利の標識が設けられている位置等からの駐車禁止範囲として正しいものはどれか。」に対し、回答「消火栓等の位置から10m以内を駐車禁止とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。
- A. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。
- I. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。
- U. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。
- E. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。交通量だけで解除されない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。10mではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-053 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【横断・転回・後退】設問「後退を開始する際の運転として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「後方・側方の安全を十分確認し、必要に応じ誘導を受け、他の交通を妨げないようにする。」とした。

B.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「駐車した場合、車の右側の道路上に原則として確保すべき余地はどれか。」に対し、回答「車の右側に5.0m以上の余地を常に確保する。」とした。

A. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

I. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

U. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

E. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。後退では死角を含む安全確認が不可欠で、正常な交通を妨げるおそれがある場合は行えない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定の一般基準ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-054 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【横断・転回・後退】設問「高速自動車国道の本線車道で出口を通り過ぎたことに気付いた場合の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「路肩を後退して出口へ戻る。」とした。

B.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「歩道や路側帯のない一般道路で駐車・停車する場合の方法として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路の右端に寄せる。」とした。

A. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

I. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

U. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

E. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。路肩後退は非常に危険である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。原則と逆である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-055 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【横断・転回・後退】設問「道路外の施設へ入るため右左折を伴って道路を横断する場合の判断として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「対向車に急ブレーキをさせても進入できる。」とした。

B.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「幅の広い路側帯に車を入れて駐車できる場合、歩行者等のために原則確保すべき余地として正しいものはどれか。」に対し、回答「歩行者等のため0.75m以上空ける。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

A. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

I. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

U. 横断・転回・後退の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

E. 横断・転回・後退の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。正常な交通を妨げる進入はできない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。路側帯に入れて駐車できる場合は原則0.75m以上の余地を空ける。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-056 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「最高速度が道路標識等で指定されている道路での運転として正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物は指定速度に従わなくてよい。」とした。

B.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「道路に平行して既に駐車している車の横に並んで駐車する「二重駐車」について正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物は荷役のため常に認められる。」とした。

A. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

I. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい。

U. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

E. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。貨物車も対象である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。貨物車の一般例外はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-057 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「道路標識等による最高速度の指定がない一般道路で、通常の自動車の最高速度として正しいものはどれか。」に対し、回答「60km/hとする。」とした。

B.【安全運転の義務】設問「道路交通法上の安全運転義務について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「車両の点検整備が済んでいれば、運転中の操作方法について安全運転義務は問われない。」とした。

ア.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は誤り。

イ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は正しい。

ウ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は正しい。

エ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。一般道路で指定がない場合、自動車の法定最高速度は原則60km/hである。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。点検整備と運転操作上の義務は別。整備済みでも運転方法が危険なら違反となり得る。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-058 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「大型貨物自動車（単車・三輪を除く）が、速度指定のない高速自動車国道の本線車道を走行する。2024年4月改正後の法定最高速度に合うものはどれか。」に対し、回答「80km/hとし、2024年4月の引上げ前の基準を用いる。」とした。

B.【安全運転の義務】設問「夜間の豪雨で前方の見通しが悪い道路を、制限速度60km/hの貨物車が走行している。安全運転義務の観点から最も適切な対応はどれか。」に対し、回答「制限速度が60km/hなので、60km/hを維持すれば法的には問題ない。」とした。

ア.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は正しい。

イ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は誤り。

ウ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は正しい。

エ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。改正前の大型貨物の速度である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。制限速度は安全が保証される速度ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-059 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「特定中型貨物自動車（三輪を除く）について、高速自動車国道本線車道の無指定区間に適用される現行の法定最高速度はどれか。」に対し、回答「50km/hとし、高速道路の最低速度と同じと考える。」とした。

B.【安全運転の義務】設問「積載物の一部が荷崩れし、後方確認がしにくい状態になった貨物車の運転者の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「安全な場所に停止し、積載状態や後方視界を確認・是正してから運転を再開する。」とした。

A. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は誤り。

I. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は誤り。

U. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は正しい。

E. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。最低速度に関係する数値である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。車両の状況に応じて他人に危害を及ぼさない運転方法を選ぶ必要があり、視界や積載状態に支障があるなら是正が必要。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-060 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「高速自動車国道の本線車道で、トレーラ等の「他の車をけん引している自動車」の法定最高速度として正しいものはどれか。」に対し、回答「100km/hとし、普通自動車等と同じ区分とする。」とした。

B.【安全運転の義務】設問「走行中、ブレーキの効きが通常より明らかに悪いと感じた。最も適切な対応はどれか。」に対し、回答「駐車ブレーキが作動するなら、常用ブレーキの異常は問題ない。」とした。

A. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は正しい。

I. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は正しい。

U. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は誤り。

E. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。けん引車の法定最高速度ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。常用ブレーキと駐車ブレーキは役割が異なり、代替できない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-061 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「高速自動車国道の本線車道で、標識等による指定がない場合の最低速度として原則正しいものはどれか。」に対し、回答「50km/hを原則とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。」とした。

B.【安全運転の義務】設問「幅の狭い生活道路で歩行者の脇を通過する場合の考え方として、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「警音器を鳴らせば、歩行者側に避ける義務が生じるので速度を維持できる。」とした。

ア.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は誤り。

イ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は正しい。

ウ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 安全運転の義務の回答は正しい。

エ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 安全運転の義務の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。高速自動車国道本線車道の法定最低速度は原則50km/hである。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。警音器は危険回避等の必要な場合に用いるもので、相手に一方的な退避義務を生じさせるものではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-062 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「高速自動車国道の本線車道で最低速度50km/hが適用される場面にについて適切な説明はどれか。」に対し、回答「悪天候でも速度を下げてはならない。」とした。

B.【過労運転等の禁止】設問「深夜勤務が続き、強い眠気と注意力低下を自覚している運転者の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「高速道路だけ避ければ一般道路は運転してよい。」とした。

ア.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

イ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

ウ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

エ.一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。天候に応じた安全速度が必要である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路の種類により禁止が解除される規定ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-063 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「高速自動車国道でも、本線車道が道路構造上往復方向別に分離されていない区間の速度について適切なものはどれか。」に対し、回答「最低速度50km/hだけが必ず適用される。」とした。

B.【過労運転等の禁止】設問「医薬品の服用後に強い眠気やふらつきが出ている場合の運転について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「薬物の影響で正常な運転ができないおそれがあるなら、運転してはならない。」とした。

A. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

I. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

U. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

E. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。最低速度の適用も同様に単純ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。第66条の『薬物の影響』は、正常運転ができないおそれがあるかどうか

かが中心で、適法な医薬品でも影響があれば注意が必要。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-064 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「大型貨物自動車が高速自動車国道を走行中、「最高速度80」の標識がある区間に入った場合の最高速度として正しいものはどれか。」に対し、回答「法定速度90km/hを優先して90km/h」とした。

B.【過労運転等の禁止】設問「『過労運転等の禁止』に関する次の説明のうち、正しいものはどれか。」に対し、回答「過労運転等の規定は事業用自動車だけに適用される。」とした。

A. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

I. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

U. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

E. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。指定速度を超える。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路交通法の規定であり、事業用車両だけに限定されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-065 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「普通貨物自動車が一般道路の「最高速度50」の標識区間を走る場合の最高速度として正しいものはどれか。」に対し、回答「最高速度50km/hの指定に従う。」とした。

B.【過労運転等の禁止】設問「運転中に突然強いめまいが生じ、視線を安定させにくくなった。運転者がとるべき行動として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「運転記録に体調不良を書けば、そのまま運行を続けられる。」とした。

A. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

I. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

U. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

E. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。一般道路の法定速度60km/hより低い指定速度50km/hがあるため、50km/hに従う。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。記録は必要な場合があるが、危険状態での運転を正当化しない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-066 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「雨天で高速道路を走行する際、標識の最高速度内であっても路面状況から危険がある場合の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「最高速度どおりで走る義務がある。」とした。

B.【過労運転等の禁止】設問「運転者が『眠くない』と答えているが、点呼時に反応が鈍く、前夜ほとんど睡眠を取れていないことが判明した。法令上の考え方として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「睡眠不足は道路交通法第66条の対象にならない。」とした。

A. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

I. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

U. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 過労運転等の禁止の回答は正しい。

E. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 過労運転等の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。上限速度での走行義務ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。過労その他の理由による正常運転困難のおそれも対象。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-067 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【一般道・高速道の法定速度、最低速度】設問「最高速度と最低速度に関する記述として正しいものはどれか。」に対し、回答「最高速度と最低速度は常に同じ数値である。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「飲酒運転に関する道路交通法上の基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「酒気を帯びて車両等を運転すること自体が禁止されており、処分基準の数値未満でも『飲酒後なら自由に運転できる』わけではない。」とした。

A. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

I. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

U. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

E. 一般道・高速道の法定速度、最低速度の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。同一数値ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路交通法第65条は酒気を帯びて車両等を運転することを禁止する。

罰則・行政処分の数値基準と、禁止規定そのものを混同しないことが重要。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-068 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【徐行すべき場所】設問「道路交通法上の「徐行」の意味として正しいものはどれか。」に対し、回答「必ず時速20km/h以下で進むこと。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「2026年7月21日施行の改正後、酒酔い運転の要件について正しいものはどれか。」に対し、回答「呼気中アルコール濃度0.5mg/L以上でも、本人が正常に運転できると主張すれば酒酔い運転にはならない。」とした。

A. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

I. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

U. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

E. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。一律20km/hでもない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。0.5mg/L以上はそれ自体で新たな酒酔い運転の要件となる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-069 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【徐行すべき場所】設問「「徐行」の標識がある場所での運転として正しいものはどれか。」に対し、回答「直ちに停止できる速度まで落として進行する。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「酒気帯び運転の罰則等で基準となる呼気中アルコール濃度として、正しいものはどれか。」に対し、回答「0.05mg/L以上。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。

A. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

I. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

U. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

E. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。徐行標識がある場所は法定の徐行場所である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。0.05mg/Lではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-070 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【徐行すべき場所】設問「左右の見通しがきかない交差点での徐行義務について正しいものはどれか。」に対し、回答「信号がなくても徐行義務は一切ない。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「前歴や他の累積点数がない運転者が、呼気中アルコール濃度0.15mg/L以上0.25mg/L未満で酒気帯び運転をした場合の行政処分として、警察庁が示すものはどれか。」に対し、回答「基礎点数6点、免許停止30日。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。」とした。

A. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

I. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

U. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

E. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。原則として徐行義務がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。携帯電話使用等（交通の危険）などと混同した数値。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-071 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【徐行すべき場所】設問「道路の曲がり角付近を通行するときの原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路幅が広ければ最高速度のまま通過する。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「前歴や他の累積点数がない運転者が酒酔い運転をした場合の行政処分について、警察庁が示す内容として正しいものはどれか。」に対し、回答「基礎点数35点、免許取消し、欠格期間3年である。」とした。

A. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

I. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

U. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

E. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路幅だけで解除されない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。警察庁は、前歴・他の累積点数がない場合の酒酔い運転を35点、取消し、欠格3年としている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-072 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【徐行すべき場所】設問「上り坂の頂上付近を通行するときの原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「法定速度内なら徐行する必要はない。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「酒を飲んだ友人が運転することを知りながら、その友人に自分の自動車を貸す行為について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「実際に運転するのは友人なので、車両提供者には飲酒運転に関する責任は生じない。」とした。

A. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

I. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

U. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

E. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。最高速度規制とは別に徐行義務がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転者以外にも車両提供者への罰則がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-073 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【徐行すべき場所】設問「こう配の急な下り坂を通行するときの原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「徐行し、速度が過度に上がらないよう安全に進行する。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「運転する予定と知りながら運転者に酒類を提供したり、飲酒した運転者に送迎を依頼して同乗したりする行為について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「酒類を提供した者は、提供場所が自宅なら処罰対象にならない。」とした。

A. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

I. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

U. 徐行すべき場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

E. 徐行すべき場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。こう配の急な下り坂は法定徐行場所である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。提供場所によって禁止が解除されるものではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-074 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「「駐停車禁止」の標識又は標示がある場所での原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「運転者が乗車していれば駐車できる。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「前夜に多量の飲酒をした運転者が翌朝『睡眠を取ったので大丈夫』と述べている。対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「朝の運転は道路交通法上の飲酒運転規制の対象外である。」とした。

A. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

I. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

U. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

E. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転者の在車だけで規制は解除されない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。規制は時間帯で除外されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-075 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「交差点とその端から何メートル以内が、原則として駐停車禁止場所となるか。」に対し、回答「交差点の端から3m以内を禁止範囲とする。」とした。

B.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「呼気中アルコール濃度が0.5mg/L未満であった運転者が、アルコールの影響により直線歩行が困難で、正常な運転ができないおそれがある状態だった。改正後の酒酔い運転の考え方として正しいものはどれか。」に対し、回答「0.5mg/L未満でも、状態基準を満たせば酒酔い運転となり得る。」とした。

A. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

I. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り。

U. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

E. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。3mではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。2026年改正後も『アルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態』という従来の状態基準は残る。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-076 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「道路の曲がり角から何メートル以内が、原則として駐停車禁止場所となるか。」に対し、回答「曲がり角から2m以内だけを禁止範囲とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。」とした。

B.【携帯電話使用等の禁止】設問「自動車運転中の携帯電話使用等について、道路交通法上の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「赤信号で完全に停止中も、道路交通法上は常に『走行中』として携帯電話に触れることが一切禁止される。」とした。

A. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい。

I. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい。

U. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り。

E. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。2mではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。条文上は停止中が除外されている。ただし発進前に安全確保が必要。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-077 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「横断歩道又は自転車横断帯とその端から前後何メートル以内が原則駐停車禁止か。」に対し、回答「横断歩道等とその端から前後5m以内を禁止範囲とする。」とした。

B.【携帯電話使用等の禁止】設問「走行中、スマートフォンを手に持って通話しているが、前方は見ている。この行為について最も適切なものはどれか。」に対し、回答「前方を見ていれば保持通話は許される。」とした。

A. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り。

I. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい。

U. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい。

E. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。横断歩道・自転車横断帯とその前後5m以内は駐停車禁止である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。保持通話自体が規制対象。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-078 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「踏切とその端から前後何メートル以内が原則駐停車禁止か。」に対し、回答「踏切の前後3m以内だけを禁止範囲とする。」とした。

B.【携帯電話使用等の禁止】設問「走行中、ダッシュボードに固定したカーナビの画面を長時間注視した場合について正しいものはどれか。」に対し、回答「固定式カーナビは携帯電話ではないので、どれだけ注視しても道路交通法上問題ない。」とした。

A. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい。

I. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り。

U. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい。

E. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。3mではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。固定式かどうかだけで注視規制がなくなるわけではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-079 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「安全地帯がある道路で、その左側と前後の駐停車禁止範囲として正しいものはどれか。」に対し、回答「安全地帯の前後30メートル以内」とした。

B.【携帯電話使用等の禁止】設問「走行中の携帯電話使用に関する例外として、条文中示されているものはどれか。」に対し、回答「傷病者の救護または公共の安全維持のため、走行中に緊急やむを得ず通話する場合」とした。

A. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り。

I. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り。

U. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい。

E. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。30mではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路交通法は、傷病者救護または公共の安全維持のため緊急やむを得ない通話を例外としている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-080 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「バス・路面電車の停留所の標示板から、運行時間中に原則駐停車禁止となる範囲として正しいものはどれか。」に対し、回答「停留所標示板から3m以内とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。

B.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「シートベルトの着用義務について正しいものはどれか。」に対し、回答「事業用貨物車の同乗者には着用義務がない。」とした。

A. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

I. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

U. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

E. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。3mではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。事業用貨物車だから免除されるものではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-081 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「トンネル内での駐停車について原則正しいものはどれか。」に対し、回答「駐車も停車もしてはならない。」とした。

B.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「シートベルトを備えた自動車を運転する際の運転者の義務として、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「運転者自身が着用していれば、同乗者の着用は本人の自由である。」とした。

ア. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

イ. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

ウ. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

エ. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。トンネルは原則駐停車禁止場所である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。同乗者の判断だけに任せる制度ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-082 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「坂の頂上付近やこう配の急な坂での駐停車について正しいものはどれか。」に対し、回答「大型貨物だけ駐車できる。」とした。

B.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「6歳未満の幼児を自動車で乗せて運転する場合の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「後部座席に乗せればチャイルドシートは不要である。」とした。

ア. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

イ. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

ウ. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

エ. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種の例外はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。座席位置だけでは免除されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-083 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「軌道敷内の駐停車について正しいものはどれか。」に対し、回答「路面電車が見えなければ駐車できる。」とした。

B.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「7歳の子供で、体格が小さく通常のシートベルトを適切に着用できない場合の安全上の対応として、警察庁が推奨しているものはどれか。」に対し、回答「6歳以上でも体格等によりシートベルトを適切に使用できない場合は、チャイルドシートの使用を検討する。」とした。

ア. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

イ. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

ウ. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

エ. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。路面電車の有無だけで解除されない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法定義務の年齢は6歳未満だが、警察庁は6歳以上でも体格等により適切なシートベルト着用ができない場合のチャイルドシート使用を勧めている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-084 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「駐停車禁止場所でも、赤信号に従うため停止する場合の扱いとして適切なものはどれか。」に対し、回答「大型貨物だけ信号停止できない。」とした。

B.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「幼児が疾病のためチャイルドシートを使用させることが療養上適当でない場合について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「疾病があっても例外は一切認められない。」とした。

ア. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

イ. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい。

ウ. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

エ. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種による差はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。条文に例外規定がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-085 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【停車・駐車の禁止場所】設問「配送中の貨物車が横断歩道の手前3メートルで、5分以内の積卸しを行おうとしている。適切な判断はどれか。」に対し、回答「5分以内の積卸しであっても、横断歩道前後5メートル以内は駐停車禁止なので停止してはならない。」とした。

B.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「自動車の使用者が、その業務に関して無免許の者に自動車を運転するよう命じる行為について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「運転者本人が承諾すれば、使用者が命じても問題ない。」とした。

A. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

イ. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

ウ. 停車・駐車の禁止場所の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

エ. 停車・駐車の禁止場所の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。5分以内積卸しは駐車定義の例外だが、横断歩道周辺の駐停車禁止規制は別に適用される。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。本人の承諾で禁止が解除されるものではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-086 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【駐車の禁止場所・駐車の方法】設問「自動車用の駐車場・車庫などの出入口から何メートル以内が、原則として駐車禁止となるか。」に対し、回答「自動車用出入口から10m以内を駐車禁止とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

B.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「使用者が、運転者が酒気を帯びていることを知りながら配送のため自動車を運転させる行為について正しいものはどれか。」に対し、回答「配送先まで10km未満なら、使用者が運転を認めてもよい。」とした。

A. 駐車の禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

イ. 駐車の禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

ウ. 駐車の禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

エ. 駐車の禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。10mではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。距離による一般的な免除はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-087 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「火災報知機から何メートル以内が原則として駐車禁止となるか。」に対し、回答「火災報知機から5m以内を駐車禁止とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。

B.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「使用者が、著しい睡眠不足で正常な運転ができないおそれのある運転者に対し、運行を続けるよう命じた。最も適切な評価はどれか。」に対し、回答「過労運転等を防止すべき立場から不適切であり、使用者側にも法令上の責任が生じ得る。」とした。

A. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

I. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

U. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

E. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。消防水利等の5mと混同しない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。過労運転防止については、運転者だけでなく使用者の運行管理にも責任が及ぶ。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-088 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「道路工事区域の端から何メートル以内が原則として駐車禁止となるか。」に対し、回答「道路工事区域の端から1m以内を駐車禁止とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。」とした。

B.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「使用者の業務に関して過労運転が行われ、過労運転防止に必要な運行管理が行われていないと認められる場合の制度について正しいものはどれか。」に対し、回答「使用者への指示は酒気帯び運転の場合にしか行えない。」とした。

A. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

I. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

U. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

E. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。1mではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。過労運転に固有の指示制度がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-089 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「消火栓や指定消防水利の標識が設けられている位置等からの駐車禁止範囲として正しいものはどれか。」に対し、回答「消火栓等の位置から5m以内を駐車禁止とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。」とした。

B.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「会社の配車担当者が『荷主との約束に間に合わせるため、制限速度を超えてでも走れ』と運転者に指示した。法令上の考え方として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「運転者が実際に速度違反をしなければ、違反を促す指示は常に適切である。」とした。

A. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

イ. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

ウ. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい。

エ. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。消火栓、指定消防水利の標識位置等から5m以内は駐車禁止である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。違法運転を前提とする管理方針自体が安全管理上不適切。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-090 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「駐車した場合、車の右側の道路上に原則として確保すべき余地はどれか。」に対し、回答「車の右側に1.0m以上の余地があればよい。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「交通事故が発生した場合、車両の運転者等がまず行うべき措置として正しいものはどれか。」に対し、回答「交通の妨げになるので、現場から離れてから警察へ連絡する。」とした。

A. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

イ. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

ウ. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

エ. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。不足する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。現場離脱は救護・報告義務に反するおそれがある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-091 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「歩道や路側帯のない一般道路で駐車・停車する場合の方法として正しいものはどれか。」に対し、回答「斜めに停止する。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「人身事故で負傷者がいる場合、運転者の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「安全を確保したうえで負傷者を救護し、必要に応じ救急車を要請する。」とした。

A. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

I. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

U. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

E. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。指定がない限り適切でない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。事故責任の帰属とは別に、事故当事者には負傷者救護等の義務がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-092 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「幅の広い路側帯に車を入れて駐停車できる場合、歩行者等のために原則確保すべき余地として正しいものはどれか。」に対し、回答「歩行者等のため0.5m以上空ける。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「交通事故後の危険防止措置として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「積荷が道路に散乱していても、所有物なので動かしてはならない。」とした。

A. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

I. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

U. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

E. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。狭すぎる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。散乱物が危険を生じさせる場合、安全に配慮して危険除去等を行う必要がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-093 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【駐車禁止場所・駐車の方法】設問「道路に平行して既に駐停車している車の横に並んで駐停車する「二重駐車」について正しいものはどれか。」に対し、回答「原則としてしてはならない。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「交通事故後、警察官への報告について正しいものはどれか。」に対し、回答「会社が後日まとめて報告すれば、運転者等は現場で報告しなくてよい。」とした。

A. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

I. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

U. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

E. 駐車禁止場所・駐車の方法の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路に平行して駐停車している車と並んで駐停車してはならない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。現場の運転者等に報告義務がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-094 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【安全運転の義務】設問「道路交通法上の安全運転義務について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「法定速度を超えなければ、道路や交通の状況にかかわらず安全運転義務違反にはならない。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「貨物車がガードレールに単独で接触し、人のけがはなかったがガードレールを損壊した。対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「自車の損傷が軽微なら、道路施設の損壊は報告しなくてよい。」とした。

A. 安全運転の義務の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

I. 安全運転の義務の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

U. 安全運転の義務の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

E. 安全運転の義務の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定速度は上限であり、その範囲内でも状況に不相応な速度なら安全運転義務違反となり得る。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。他人の物・道路施設の損壊は事故の重要事項。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-095 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【安全運転の義務】設問「夜間の豪雨で前方の見通しが悪い道路を、制限速度60km/hの貨物車が走行している。安全運転義務の観点から最も適切な対応はどれか。」に対し、回答「大型車は車体が安定しているため、雨天時も速度調整は不要である。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「交通事故の相手方が負傷しているにもかかわらず、運転者が救護せず現場を離れた場合について最も適切なものはどれか。」に対し、回答「救護義務違反として重大な法的責任を問われる可能性がある。」とした。

ア. 安全運転の義務の回答は誤り／救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

イ. 安全運転の義務の回答は正しい／救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

ウ. 安全運転の義務の回答は誤り／救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

エ. 安全運転の義務の回答は正しい／救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。大型・貨物車であっても雨天や視界不良に応じた速度調整が必要。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。事故後の負傷者救護は、過失割合や自車損傷の有無とは別に重要な法定義務。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-096 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【安全運転の義務】設問「積載物の一部が荷崩れし、後方確認がしにくい状態になった貨物車の運転者の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「運転に慣れていれば、そのまま目的地まで低速で走行してよい。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「事故現場で警察官が到着し、負傷者救護等に必要な指示をした場合の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「事故責任を認めていない場合は、警察官の安全確保上の指示を拒める。」とした。

ア. 安全運転の義務の回答は誤り／救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

イ. 安全運転の義務の回答は正しい／救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

ウ. 安全運転の義務の回答は正しい／救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

エ. 安全運転の義務の回答は誤り／救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。経験の有無で安全運転義務が免除されることはない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。責任認定と現場安全確保の指示は別問題。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-097 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【安全運転の義務】設問「走行中、ブレーキの効きが通常より明らかに悪いと感じた。最も適切な対応はどれか。」に対し、回答「無理に運行を継続せず、安全を確保して停止し、必要な点検・整備を行う。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「接触事故後、相手車両の運転者が『急いでいるので警察を呼ばず、お互い連絡先だけ交換しよう』と提案した。最も適切な対応はどれか。」に対し、回答「修理費が10万円未満なら報告不要である。」とした。

ア. 安全運転の義務の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

イ. 安全運転の義務の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

ウ. 安全運転の義務の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

エ. 安全運転の義務の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。安全運転義務はブレーキ等を確実に操作できる状態での運転を求める。異常を認識したまま運行を続けるのは不適切。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。損害額による一般的な報告免除基準はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-098 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【安全運転の義務】設問「幅の狭い生活道路で歩行者の脇を通過する場合の考え方として、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「警音器を鳴らせば、歩行者側に避ける義務が生じるので速度を維持できる。」とした。

B.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「事故直後の対応順序として、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「積荷確認→相手との示談→会社へ報告→必要なら救護」とした。

ア. 安全運転の義務の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

イ. 安全運転の義務の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

ウ. 安全運転の義務の回答は誤り / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい。

エ. 安全運転の義務の回答は正しい / 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。警音器は危険回避等の必要な場合に用いるもので、相手に一方的な退避義務を生じさせるものではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。示談や積荷確認を負傷者救護より優先しない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-099 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【過労運転等の禁止】設問「深夜勤務が続き、強い眠気と注意力低下を自覚している運転者の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「高速道路だけ避ければ一般道路は運転してよい。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「一般貨物自動車運送事業のトラックを運転する場合の免許について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「車両区分に応じた第一種免許等が必要であり、貨物を有償で運ぶことだけを理由に第二種免許が必要になるわけではない。」とした。

A. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

イ. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

ウ. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

エ. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路の種類により禁止が解除される規定ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。第二種免許は主として旅客を運送する目的で旅客自動車等を運転する場合に必要。貨物車は車両区分に適合する免許が必要。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-100 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【過労運転等の禁止】設問「医薬品の服用後に強い眠気やふらつきが出ている場合の運転について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「薬物の影響による運転禁止は違法薬物だけを対象とする。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「現行の普通自動車の区分として、貨物車について正しい組合せはどれか。」に対し、回答「車両総重量11トン未満、最大積載量6.5トン未満。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。

A. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

イ. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

ウ. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

エ. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。違法薬物に限定する条文ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。中型自動車の上限側の数値。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-101 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【過労運転等の禁止】設問「『過労運転等の禁止』に関する次の説明のうち、正しいものはどれか。」に対し、回答「病気による発熱やめまいで正常な運転ができないおそれがある状態も対象となる。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「準中型自動車の範囲として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「乗車定員30人以上の自動車」とした。

A. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

I. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

U. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

E. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。病気を含め、正常な運転ができないおそれがある状態での運転が禁止される。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。大型自動車の定員基準。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-102 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【過労運転等の禁止】設問「運転中に突然強いめまいが生じ、視線を安定させにくくなった。運転者がとるべき行動として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「同乗者がいなければ、体調不良でも運転を続けてよい。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「大型自動車に該当する基準として正しいものはどれか。」に対し、回答「車両総重量7.5トン以上なら、最大積載量等に関係なくすべて大型自動車」とした。

A. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

I. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

U. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

E. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。同乗者の有無は運転可否の要件ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。GVW7.5～11t未満は中型となる範囲がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-103 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【過労運転等の禁止】設問「運転者が『眠くない』と答えているが、点呼時に反応が鈍く、前夜ほとんど睡眠を取れていないことが判明した。法令上の考え方として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「本人が運転可能と申告した以上、使用者側は運転させなければならない。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「最大積載量がちょうど4.5トンの貨物自動車（他の条件で大型に該当しない）を運転するために必要となる車両区分の免許として、原則どれが適切か。」に対し、回答「中型免許」とした。

ア. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

イ. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

ウ. 過労運転等の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

エ. 過労運転等の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。本人申告は判断材料の一つにすぎない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。準中型は最大積載量4.5t『未満』。ちょうど4.5tは中型側の基準に入る。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-104 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「飲酒運転に関する道路交通法上の基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「呼気中アルコール濃度が0.15mg/L未満なら、どのような状態でも運転してよい。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「車両総重量がちょうど7.5トンの貨物自動車（他の条件で大型に該当しない）について、車両区分として正しいものはどれか。」に対し、回答「必ず大型自動車に該当する。」とした。

ア. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

イ. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

ウ. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

エ. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。0.15mg/Lは酒気帯び運転の罰則等で重要な基準だが、『それ未満なら飲酒運転が許される』という意味ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。大型は11t以上等が基準であり、7.5tだけで大型ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-105 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「2026年7月21日施行の改正後、酒酔い運転の要件について正しいものはどれか。」に対し、回答「呼気中アルコール濃度0.5mg/L以上、またはアルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態である。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「最大積載量がちょうど6.5トンの貨物自動車について、車両区分として正しいものはどれか。」に対し、回答「中型自動車に該当する。」とした。

A. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

I. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

U. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

E. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。2026年7月21日から、従来の状態基準に加え呼気0.5mg/L以上の数値基準が新設された。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。6.5tちょうどは中型の『未滿』を超え、大型側。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-106 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「酒気帯び運転の罰則等で基準となる呼気中アルコール濃度として、正しいものはどれか。」に対し、回答「0.5mg/L以上。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「車両総重量750kgを超える被けん引車を自動車でけん引して道路を走行する場合の免許について、原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「普通免許があれば、被けん引車の重量にかかわらずけん引免許は不要である。」とした。

A. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

I. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

U. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

E. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。0.5mg/Lは2026年7月21日から酒酔い運転に追加された数値基準。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。一定重量を超えるけん引には別免許が必要。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-107 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「前歴や他の累積点数がない運転者が、呼気中アルコール濃度0.15mg/L以上0.25mg/L未満で酒気帯び運転をした場合の行政処分として、警察庁が示すものはどれか。」に対し、回答「基礎点数25点、免許取消し・欠格期間2年。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「第二種免許の区分について、正しいものはどれか。」に対し、回答「大型第二種・中型第二種・普通第二種などがあり、旅客自動車を旅客運送目的で運転する場合等に必要となる。」とした。

A. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

I. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

U. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

E. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。呼気0.25mg/L以上の酒気帯び運転の基準。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。第二種免許は旅客運送等に関する免許で、準中型第二種という区分はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-108 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「前歴や他の累積点数がない運転者が酒酔い運転をした場合の行政処分について、警察庁が示す内容として正しいものはどれか。」に対し、回答「基礎点数13点、免許停止90日である。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「大型特殊免許について、最も適切な説明はどれか。」に対し、回答「大型特殊免許があれば、最大積載量10トンの一般的な大型トラックも運転できる。」とした。

A. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

I. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

U. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

E. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。13点・停止90日は、呼気0.15mg/L以上0.25mg/L未満の酒気帯び運転に対応する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。一般の大型貨物車には大型免許等が必要。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-109 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「酒を飲んだ友人が運転することを知りながら、その友人に自分の自動車を貸す行為について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「飲酒運転をするおそれのある者に車両を提供する行為も禁止・処罰の対象となり得る。」とした。

B.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「乗車定員が30人の自動車（他の条件を問わず）について、道路交通法上の車両区分として正しいものはどれか。」に対し、回答「普通自動車」とした。

A. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

I. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

U. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい。

E. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路交通法は運転者だけでなく、飲酒運転につながる車両提供も厳しく規制している。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。普通は乗車定員10人以下。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-110 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「運転する予定と知りながら運転者に酒類を提供したり、飲酒した運転者に送迎を依頼して同乗したりする行為について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「酒類を提供した者は、提供場所が自宅なら処罰対象にならない。」とした。

B.【免許の効力（停止・取消し）・高齢 / 初心者標識】設問「運転免許の停止と取消しについて、最も適切な説明はどれか。」に対し、回答「停止処分を受けると、その日から免許は永久に失効する。」とした。

A. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の効力（停止・取消し）・高齢 / 初心者標識の回答は正しい。

I. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の効力（停止・取消し）・高齢 / 初心者標識の回答は誤り。

U. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り / 免許の効力（停止・取消し）・高齢 / 初心者標識の回答は正しい。

E. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい / 免許の効力（停止・取消し）・高齢 / 初心者標識の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。提供場所によって禁止が解除されるものではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。停止は必ず永久失効という意味ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-111 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「前夜に多量の飲酒をした運転者が翌朝『睡眠を取ったので大丈夫』と述べている。対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「朝の運転は道路交通法上の飲酒運転規制の対象外である。」とした。

B.【免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識】設問「75歳以上の運転者が認知機能検査で『認知症のおそれがある』と判定された場合について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「医師の診断等の手続に進み、認知症と診断された場合には聴聞等を経て免許取消または効力停止となることがある。」とした。

A. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り。

I. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り。

U. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい。

E. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。規制は時間帯で除外されない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。警察庁は、認知症のおそれ→臨時適性検査または診断書→認知症診断の場合に取消し・停止という手続を示している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-112 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【酒気帯び・酒酔い運転の禁止】設問「呼気中アルコール濃度が0.5mg/L未満であった運転者が、アルコールの影響により直線歩行が困難で、正常な運転ができないおそれがある状態だった。改正後の酒酔い運転の考え方として正しいものはどれか。」に対し、回答「酒酔い運転は本人が酔っていると認めた場合に限って成立する。」とした。

B.【免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識】設問「初心運転者標識（初心者マーク）について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「初心者マークは自動二輪車だけを対象とする。」とした。

A. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい。

I. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい。

U. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は正しい／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り。

E. 酒気帯び・酒酔い運転の禁止の回答は誤り／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。本人の自認は成立要件ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。対象は自動二輪車に限定されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-113 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【携帯電話使用等の禁止】設問「自動車運転中の携帯電話使用等について、道路交通法上の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車が停止しているときを除き、手で保持しなければ通話できない携帯電話等を通話のため使用したり、画像表示装置の画像を注視したりしてはならない。」とした。

B.【免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識】設問「初心運転者標識または高齢運転者標識を表示した普通自動車等の周囲を走行する他の自動車運転者について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「標識表示車は必ず法定速度より20km/h低く走る義務があるので、自由に追い越してよい。」とした。

A. 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り。

I. 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい。

ウ. 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい。

E. 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り／免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。第71条5の5は『停止しているときを除き』、保持通話や画像注視を禁止する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。標識表示車に一律20km/h減速義務はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-114 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【携帯電話使用等の禁止】設問「走行中、スマートフォンを手持って通話しているが、前方は見ている。この行為について最も適切なものはどれか。」に対し、回答「通話が30秒以内なら許される。」とした。

B.【目的・用語の定義】設問「道路交通法の目的として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「道路工事の設計基準だけを定めること。」とした。

A. 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい／目的・用語の定義の回答は正しい。

I. 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り／目的・用語の定義の回答は誤り。

ウ. 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り／目的・用語の定義の回答は正しい。

E. 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい／目的・用語の定義の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。時間による一般的な30秒免除はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路構造の技術基準だけを扱う法律ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-115 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【携帯電話使用等の禁止】設問「走行中、ダッシュボードに固定したカーナビの画面を長時間注視した場合について正しいものはどれか。」に対し、回答「ナビの画面は2秒以上見なければ必ず安全で、法令上も一律に許される。」とした。

B.【目的・用語の定義】設問「物流センターの構内通路であっても、不特定多数の車が自由に通行する状態にある場所について、道路交通法上の「道路」に該当し得る理由として適切なものはどれか。」に対し、回答「道路法上の道路等に加え、一般交通の用に供するその他の場所も含まれる。」とした。

A. 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。

イ. 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。

ウ. 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。

エ. 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。警察庁は2秒以上の注視の危険性を示すが、『2秒未満なら一律適法』という免除規定ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路交通法の道路は、法定道路に限らず一般交通の用に供する場所を含む。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-116 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【携帯電話使用等の禁止】設問「走行中の携帯電話使用に関する例外として、条文上示されているものはどれか。」に対し、回答「配送先への到着時刻を知らせるための通話」とした。

B.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「車両」に含まれるものの組合せとして適切なものはどれか。」に対し、回答「自動車と航空機だけ」とした。

A. 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。

イ. 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。

ウ. 携帯電話使用等の禁止の回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。

エ. 携帯電話使用等の禁止の回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。業務連絡は通常、例外に当たらない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。航空機は含まれない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-117 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「シートベルトの着用義務について正しいものはどれか。」に対し、回答「後部座席を含む全ての座席について、原則としてシートベルトを着用させる必要がある。」とした。
- B.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「駐車」に該当するものとして最も適切なものはどれか。」に対し、回答「人の乗り降りのために短時間停止する。」とした。

- A. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。
- I. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。
- U. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。
- E. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。警察庁は後部座席を含む全席での着用義務を明示している。Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。人の乗降のための停止は駐車の定義から除かれる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-118 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「シートベルトを備えた自動車を運転する際の運転者の義務として、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「助手席だけ確認すれば、後部座席は確認する必要がない。」とした。
- B.【目的・用語の定義】設問「貨物の積卸しのための停止と「駐車」の関係について正しいものはどれか。」に対し、回答「荷主の敷地前なら道路上でも駐車規制は一切適用されない。」とした。

- A. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。
- I. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。
- U. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。
- E. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。後部座席も原則対象。Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路上では場所の規制も別途適用される。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-119 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「6歳未満の幼児を自動車に乗せて運転する場合の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「一般道路だけの短距離運転ならチャイルドシートは不要である。」とした。

B.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「停車」の説明として正しいものはどれか。」に対し、回答「駐車に当たらない車両の停止をいう。」とした。

A. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。

I. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。

U. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。

E. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。距離の長さによる一般的免除はない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。停車は、駐車に当たらない短時間等の停止として整理される。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-120 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「7歳の子供で、体格が小さく通常のシートベルトを適切に着用できない場合の安全上の対応として、警察庁が推奨しているものはどれか。」に対し、回答「6歳になった時点で、体格に関係なくチャイルドシートを使用してはならない。」とした。

B.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「追越し」の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「対向車とすれ違うことをいう。」とした。

A. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。

I. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。

U. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。

E. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。6歳以上でも安全上使用できる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。すれ違いは追越しではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-121 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【座席ベルト・チャイルドシート】設問「幼児が疾病のためチャイルドシートを使用させることが療養上適当でない場合について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「政令で定めるやむを得ない理由に該当する場合には、法令上の例外が認められることがある。」とした。

B.【目的・用語の定義】設問「道路交通法上の「交差点」の理解として適切なものはどれか。」に対し、回答「道路と駐車場の出入口が接する場所をすべていう。」とした。

A. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。

I. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。

U. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。

E. 座席ベルト・チャイルドシートの回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路交通法は疾病その他政令で定めるやむを得ない理由について例外を置いている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。単なる施設出入口は当然に交差点とはならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-122 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「自動車の使用者が、その業務に関して無免許の者に自動車を運転するよう命じる行為について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「運転者本人が承諾すれば、使用者が命じても問題ない。」とした。

B.【目的・用語の定義】設問「「歩行者」の扱いに関する説明として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路を歩く者でも横断歩道上では歩行者に当たらない。」とした。

A. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。

I. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。

U. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。

E. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。本人の承諾で禁止が解除されるものではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。横断歩道上でも歩行者である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-123 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「使用者が、運転者が酒気を帯びていることを知りながら配送のため自動車を運転させる行為について正しいものはどれか。」に対し、回答「配送先まで10km未満なら、使用者が運転を認めてもよい。」とした。

B.【目的・用語の定義】設問「運行管理者が道路交通法の用語を確認する際の考え方として適切なものはどれか。」に対し、回答「同じ「自動車」「道路」等の語でも、道路運送車両法など他法令と定義範囲が異なることがあるため、道路交通法の定義を基準に判断する。」とした。

ア. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は誤り。

イ. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は誤り。

ウ. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 目的・用語の定義の回答は正しい。

エ. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 目的・用語の定義の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。距離による一般的な免除はない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法令ごとに定義規定が置かれ、適用場面に応じて確認する必要がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-124 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「使用者が、著しい睡眠不足で正常な運転ができないおそののある運転者に対し、運行を続けるよう命じた。最も適切な評価はどれか。」に対し、回答「運転者が免許を持っていれば、使用者は疲労状態を考慮しなくてよい。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「交差点で自動車が青色の灯火に対面した。青信号の法的な意味を踏まえた運転として適切なものはどれか。」に対し、回答「左折だけができる。」とした。

ア. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

イ. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

ウ. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

エ. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。免許保有と健康・疲労状態は別問題。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。左折に限定されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-125 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「使用者の業務に関して過労運転が行われ、過労運転防止に必要な運行管理が行われていないと認められる場合の制度について正しいものはどれか。」に対し、回答「公安委員会は、過労運転を防止するため必要な措置をとるよう使用者に指示することができる。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「停止線直前で信号が青から黄に変わった。安全に停止できる距離が十分ある場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「速度を上げて交差点を通過しなければならない。」とした。

A. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

I. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

U. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

E. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路交通法第66条の2は、過労運転防止に必要な管理が不十分な使用者への指示を定める。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。加速を求める信号ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-126 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【使用者の義務・下命容認の禁止】設問「会社の配車担当者が『荷主との約束に間に合わせるため、制限速度を超えてでも走れ』と運転者に指示した。法令上の考え方として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「運送会社ではなく荷主の要望が原因なら、使用者は運行計画を見直す必要がない。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「赤色の灯火の信号に対面した車両の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「警音器を鳴らせば進行できる。」とした。

A. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

I. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

U. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

E. 使用者の義務・下命容認の禁止の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。荷主要望があっても、使用者は適法に運行できる計画へ調整する必要がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。警音器で信号規制を免れない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-127 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「交通事故が発生した場合、車両の運転者等がまず行うべき措置として正しいものはどれか。」に対し、回答「物損事故であれば、相手と合意すれば停止せず走行を続けてよい。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「赤信号と同時に青色の右向き矢印が表示されている場合、自動車の通行として正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車は矢印の方向へ進行できる。」とした。

A. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

I. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

U. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

E. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。物損事故でも必要な停止・報告等が問題となる。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。青矢印は、赤信号でも矢印方向への車両の進行を認める。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-128 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「人身事故で負傷者がいる場合、運転者の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「後続車の交通が多い場合は、負傷者を残して配送を優先する。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「夜間、交差点の信号機が黄色点滅になっている。自動車の運転方法として適切なものはどれか。」に対し、回答「その場で信号が変わるまで待つ。」とした。

A. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

I. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

U. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

E. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。配送より人命救護を優先する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。信号変化を待つ義務ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-129 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「交通事故後の危険防止措置として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「後続車による二次事故を防ぐため、可能な範囲で安全確保や表示、交通への注意喚起等を行う。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「赤色点滅の信号が設置された交差点へ自動車で進入しようとしている。必要な行動はどれか。」に対し、回答「最高速度まで加速して通過する。」とした。

A. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

I. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

U. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

E. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。事故後には道路上の危険を防止するため必要な措置を講じる義務がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。加速を求める信号ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-130 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「交通事故後、警察官への報告について正しいものはどれか。」に対し、回答「人身事故だけ報告義務があり、物損事故は一切報告しなくてよい。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「警察官の手信号と信号機の表示が異なる場合、どちらに従うべきか。」に対し、回答「車体の大きい車が優先して判断する。」とした。

A. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

I. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

U. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

E. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。物損事故でも道路交通法上の交通事故として報告が必要となる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車体の大きさで優先関係は決まらない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-131 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「貨物車がガードレールに単独で接触し、人のけがはなかったがガードレールを損壊した。対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「けが人がいないので、会社にだけ報告してそのまま走行する。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「本標識の4種類の組合せとして正しいものはどれか。」に対し、回答「規制標識、指示標識、警戒標識、案内標識」とした。

ア. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

イ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

ウ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

エ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。負傷者の有無だけで報告義務を判断しない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。警察庁の教則では本標識を規制・指示・警戒・案内の4種類に分類する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-132 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「交通事故の相手方が負傷しているにもかかわらず、運転者が救護せず現場を離れた場合について最も適切なものはどれか。」に対し、回答「自車に損傷がなければ救護義務は生じない。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「「最高速度」の道路標識は、標識分類上どれに当たるか。」に対し、回答「警戒標識」とした。

ア. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

イ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

ウ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

エ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車両損傷の有無は救護義務の要件ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。危険を予告するだけの標識ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-133 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「事故現場で警察官が到着し、負傷者救護に必要な指示をした場合の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「警察官の指示に従い、事故処理と安全確保に協力する。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「補助標識の役割として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路の舗装強度を表示するためだけに用いる。」とした。

ア. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

イ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

ウ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

エ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。事故現場では警察官の指示に従い、救護・危険防止等を行う必要がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。舗装強度だけの表示ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-134 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「接触事故後、相手車両の運転者が『急いでいるので警察を呼ばず、お互い連絡先だけ交換しよう』と提案した。最も適切な対応はどれか。」に対し、回答「修理費が10万円未満なら報告不要である。」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「道路標示の分類として正しいものはどれか。」に対し、回答「登録標示と検査標示の2種類」とした。

ア. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

イ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

ウ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

エ. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。損害額による一般的な報告免除基準はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車両登録・検査の区分ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-135 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【救護義務・危険防止・警察官への報告】設問「事故直後の対応順序として、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「積荷確認→相手との示談→会社へ報告→必要なら救護」とした。

B.【信号の意味・道路標識・道路標示】設問「進路変更禁止を示す道路標示がある区間での運転として適切なものはどれか。」に対し、回答「原則として、その標示が禁止する方向への進路変更をしない。」とした。

A. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

I. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は誤り。

U. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は誤り / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

E. 救護義務・危険防止・警察官への報告の回答は正しい / 信号の意味・道路標識・道路標示の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。示談や積荷確認を負傷者救護より優先しない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。進路変更禁止標示は、指定された進路変更を規制する。合図は規制解除の手段ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-136 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「一般貨物自動車運送事業のトラックを運転する場合の免許について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「事業用トラックはすべて第二種免許が必要である。」とした。

B.【通行区分・車両通行帯】設問「車両通行帯のない道路で、自動車が通行する位置の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「歩道を通行する。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。『緑ナンバー＝第二種』ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。自動車が歩道を通常通行することはできない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-137 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「現行の普通自動車の区分として、貨物車について正しい組合せはどれか。」に対し、回答「車両総重量3.5トン未満、最大積載量2トン未満。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。」とした。
- B.【通行区分・車両通行帯】設問「片側に2本の車両通行帯がある道路での一般的な通行方法として適切なものはどれか。」に対し、回答「2本の通行帯をまたいで走る。」とした。
- A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。
- I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。
- U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。
- E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。現行普通自動車は、車両総重量3.5t未満・最大積載量2t未満等の範囲。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。通行帯をまたぐ走行は適切でない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-138 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「準中型自動車の範囲として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「車両総重量11トン以上または最大積載量6.5トン以上の自動車」とした。
- B.【通行区分・車両通行帯】設問「片側3以上の車両通行帯がある道路で、最高速度の異なる車が通行する場合の考え方として適切なものはどれか。」に対し、回答「速度に関係なく通行帯を自由に選べる。」とした。
- A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。
- I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。
- U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。
- E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。大型自動車の基準。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車両通行帯の通行区分に従う必要がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-139 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「大型自動車に該当する基準として正しいものはどれか。」に対し、回答「乗車定員11人以上ならすべて大型自動車」とした。

B.【通行区分・車両通行帯】設問「道路標識等により「車両通行区分」が指定されている場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「指定された車種・方向等の通行区分に従う。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り／通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい／通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り／通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい／通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。定員11～29人は中型となる範囲。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路標識等による通行区分指定がある場合は、その指定に従う。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-140 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「最大積載量がちょうど4.5トンの貨物自動車（他の条件で大型に該当しない）を運転するために必要となる車両区分の免許として、原則どれが適切か。」に対し、回答「準中型免許」とした。

B.【通行区分・車両通行帯】設問「路線バス等優先通行帯を通行中、後方から路線バス等が接近した場合の一般的な対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「路線バス等に停止を求める。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り／通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい／通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい／通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り／通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。4.5t未満が準中型の上限なので、境界値4.5tは含まれない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。優先車両に停止を求める規定ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-141 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「車両総重量がちょうど7.5トンの貨物自動車（他の条件で大型に該当しない）について、車両区分として正しいものはどれか。」に対し、回答「中型自動車に該当する。」とした。

B.【通行区分・車両通行帯】設問「車両通行帯を変更する際の基本として正しいものはどれか。」に対し、回答「合図を出した瞬間に他車が必ず譲るので確認不要である。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。準中型はGVW7.5t未満。7.5tちょうどは中型側。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。合図を出しても他車に急回避を強いる変更はできない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-142 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「最大積載量がちょうど6.5トンの貨物自動車について、車両区分として正しいものはどれか。」に対し、回答「普通自動車に該当する。」とした。

B.【通行区分・車両通行帯】設問「高速道路の路肩・路側帯の通行について正しいものはどれか。」に対し、回答「速度が50km/h以下なら常に路肩通行できる。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。普通は2t未満。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。速度だけで路肩通行が許されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-143 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「車両総重量750kgを超える被けん引車を自動車でけん引して道路を走行する場合の免許について、原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「運行管理者資格者証があれば、けん引免許は不要である。」とした。

B.【通行区分・車両通行帯】設問「高速道路で登坂車線が設けられている場合、荷物を積んだトラックなど速度の遅い車の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「交通状況に応じて登坂車線を利用し、他の交通の円滑を図る。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り／通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

イ. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい／通行区分・車両通行帯の回答は誤り。

ウ. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り／通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

エ. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい／通行区分・車両通行帯の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運行管理者資格は運転免許を代替しない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。警察庁教則でも、荷物を積んだトラックなど速度の遅い車は登坂車線の利用が示される。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-144 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「第二種免許の区分について、正しいものはどれか。」に対し、回答「貨物トラックを有償で運転するだけで、必ず第二種免許が必要になる。」とした。

B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「前車を追い越す場合の原則的な通行側として正しいものはどれか。」に対し、回答「路肩を通行する。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

イ. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

ウ. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

エ. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。有償貨物運送だけを理由に二種が必要になるわけではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。路肩は追越し用ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-145 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「大型特殊免許について、最も適切な説明はどれか。」に対し、回答「大型特殊自動車を道路で運転するための免許であり、通常の大型貨物自動車を運転する大型免許とは別区分である。」とした。

B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「追越しを開始する前の判断として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「前车との車間距離だけ確認すればよい。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。大型特殊と大型は対象車両が異なる独立した免許区分。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。複数方向の危険を確認する必要がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-146 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の区分（第一種・第二種等）】設問「乗車定員が30人の自動車（他の条件を問わず）について、道路交通法上の車両区分として正しいものはどれか。」に対し、回答「普通自動車」とした。

B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「道路の曲がり角付近での追越しについて正しいものはどれか。」に対し、回答「夜間なら追越しできる。」とした。

A. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

I. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

U. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は誤り / 追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

E. 免許の区分（第一種・第二種等）の回答は正しい / 追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。普通は乗車定員10人以下。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。時間帯で一般解除されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-147 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識】設問「運転免許の停止と取消しについて、最も適切な説明はどれか。」に対し、回答「停止処分を受けると、その日から免許は永久に失効する。」とした。

B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「踏切とその手前付近での追越し規制として正しいものはどれか。」に対し、回答「踏切とその手前30メートル以内は、原則として追越し禁止である。」とした。

ア. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

イ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

ウ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

エ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。停止は必ず永久失効という意味ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。踏切とその手前30m以内は追越し禁止場所として規定される。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-148 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識】設問「75歳以上の運転者が認知機能検査で『認知症のおそれがある』と判定された場合について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「検査で『認知症のおそれ』と出た時点で、医師の診断なしに必ず即日免許取消しとなる。」とした。

B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「横断歩道の手前で前車を追い越す場合の規制として正しいものはどれか。」に対し、回答「横断歩道上だけが禁止で手前は規制されない。」とした。

ア. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

イ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。

ウ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

エ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。検査結果だけで即日自動取消しという制度ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。手前30mも規制範囲である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-149 難易度2
次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。
A.【免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識】設問「初心運転者標識（初心者マーク）について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「原則として、準中型免許または普通免許を受けてから通算1年に達しない者が対象車両を運転する場合に表示義務がある（法定の免除規定を除く）。」とした。
B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「交通整理の行われていない交差点付近での追越しについて、正しいものはどれか。」に対し、回答「信号のない交差点では追越し規制は一切ない。」とした。
ア. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。
イ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。
ウ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。
エ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

答え・解説
正答：ア
ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。
イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。
ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。
エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。
総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。初心運転者標識は準中型・普通免許の初心運転者について原則1年間の表示義務がある。
Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。規制がある。
2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK03-PDF-150 難易度2
次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。
A.【免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識】設問「初心運転者標識または高齢運転者標識を表示した普通自動車等の周囲を走行する他の自動車運転者について、最も適切なものはどれか。」に対し、回答「標識は本人の注意喚起だけが目的で、周囲の車両には何の義務も生じない。」とした。
B.【追越し・追抜き・進路変更】設問「同一方向に進行中、進路を変えずに他車の側方を通過して前方に出る行為の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「駐車に当たる。」とした。
ア. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。
イ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。
ウ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は誤り／追越し・追抜き・進路変更の回答は正しい。
エ. 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識の回答は正しい／追越し・追抜き・進路変更の回答は誤り。

答え・解説
正答：イ
ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。
イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。
ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。
エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。
総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。周囲の車両にも保護義務がある。
Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。停止行為ではない。
2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。